

咳喘息の診断基準（下記の 1～7 のすべてを満たす）

- 1．喘鳴を伴わない咳嗽が 8 週間以上持続する
聴診上も wheeze を認めない
- 2．喘鳴、呼吸困難などの喘息の既往を認めない
- 3．8 週間以内に上気道炎に罹患していない
- 4．気道過敏性の亢進
- 5．気管支拡張薬が有効（注 1）
- 6．咳感受性は亢進していない（注 2）
- 7．胸部 X 線で異常を認めない

診断は上記の 1～7 をすべて満たす

注 1：気管支拡張薬の効果は、刺激薬の経口、吸入による評価が望ましい。また気管支拡張薬の効果判定は客観的証明によることが望ましい

注 2：咳感受性は、亢進していないとする報告と、治療により低下するとする報告があるが、純粋な咳喘息では亢進していない。